

★吉野ヶ里町地球温暖化対策実行計画の実績報告(2019年度)について

2017年度に策定した「吉野ヶ里町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」で、吉野ヶ里町の管理する施設では、2022年度までに二酸化炭素(CO₂)排出量の『22%以上削減』(2013年度実績値を基準)、2030年度までに二酸化炭素(CO₂)排出量の『40%以上削減』(2013年度実績値を基準)を目標として掲げ、省エネルギーに取り組んでいます。

年度	2013年度 (基準年度)	2022年度 (中間目標年度)	2030年度 (最終目標年度)
温室効果ガス総排出量 (t - CO ₂)	4,480.6	3,472.0	2,688.0

2019年度の温室効果ガス総排出量は2,779.6トン(t - CO₂)でした。

○温室効果ガスの総排出量

- ・総排出量は、基準年度(2013年度)比で約1,701トン減少しました。
- ・基準年度(2013年度)からの増減比率は38.0%減となりました。

年度	基準年度 (2013)	2015	2016	2017	2018	2019	
温室効果ガス総排出量 (t - CO ₂)	4,480.6	4,098.6	3,775.6	3,596.6	2,832.6	2,779.6	
基準年度 (2013年度) との比較	排出量 (t - CO ₂)	—	▲382.0	▲705.0	▲884.0	▲1,648.0	▲1,701.0
	増減率 (%)	—	▲8.5	▲15.7	▲19.7	▲36.8	▲38.0

○エネルギー別排出量の比較

発生区分	2013年度(基準年度) 排出量(t - CO ₂)	2019年度 排出量(t - CO ₂)	対基準年度増減比率
二酸化炭素(CO ₂)	4,373.0	2,685.0	▲38.6%
メタン(CH ₄)	33.0	29.0	▲12.1%
一酸化二窒素(N ₂ O)	74.0	65.0	▲12.1%
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	0.6	0.6	0%
合計	4,480.6	2,779.6	▲38.0%

○二酸化炭素排出量の減少理由

電気使用量に関して基準年度(2013年度)と比較すると、電気使用量【参考1】は減少し、加えて電気事業者の温室効果ガス排出係数【参考2】が低下したことにより、排出量そのものは大きく減少しています。

【参考1】電気使用量(吉野ヶ里町庁舎及び関係施設)

年度	基準年度(2013年度)	2019年度
使用量(kWh)	5,448,734	4,784,625

【参考2】電気事業者(九州電力(株))の温室効果ガス排出係数

年度	基準年度(2013年度)	2019年度
排出係数(t - CO ₂ / kWh)	0.613	0.344